

陽光通信

No298
2026年1月号



発行：陽光学院 発行責任者：菅野伸一
川崎市中原区木月 2-2-28
[TEL] 044-433-2553
[FAX] 044-411-5675
<http://www.yokogakuin.co.jp/>

気持ちを戻すための一言

カリフォルニア大学のバークレー校で、ある心理学の実験が行われた。40年以上も修行を積んだお坊さんと、まったくの素人に坐禅を組んで瞑想してもらう。その後、彼らに予期せぬ大きな音を聞かせて、心拍数や身体の反応がどう変化するのかを調べるという実験だ。

結果は、少し意外なものだった。驚いた瞬間の反応は、修行を積んだお坊さんも素人もほとんど同じ。違いが現れたのは、その後だ。心や身体が平常にもどるまでの時間に、大きな差があったんだ。お坊さんは驚きはしたものの、すぐに落ち着いた状態に戻った。一方で素人のほうは、驚きや緊張がなかなか収まらなかったという。

人である以上、「どんなときも平常心で」というのは無理な話だ。瞑想歴40年のお坊さんでさえ、僕らと同じように驚いてしまうくらいだかね。けれど気持ちが揺れた後、いつもの状態にどれだけ早くもどれるかは自分次第ということだ。

この話は、入試本番にもそっくり当てはまる。入試ではいつもとは違ったプレッシャーがかかる。緊張したり不安になったりして当たり前。大切なのは、その状態からどれだけ早く戻れるかだ。

そのために、簡単だけれど効果バツグンの方法がある。毎年、受験生に僕がつたえているやり方だ。それは、前もって「今年は難しくなるかもしれない」と心の準備をしておくこと。入試問題の難易度は、毎年同じとは限らない。易しくなる年もあれば、形式が変わったりして難しく感じる年もある。もし心の準備がないまま、難化した問題に出会ってしまうと、「思ったより解けない」「いつも通りにいかない」そんな焦りや動搖が、一気に押し寄せてくる。

けれど、最初から「今年は難しくなるかもしれない」と想定していたらどうだろう。難しい問題に会っても「思ったとおりだ」と、一步引いて問題を見ることができる。すると「今は解かない問題」「ここは確実に取りに行く問題」と冷静な判断がしやすくなる。実際、この心構えで本番に臨んだ子たちは、試験後にこう話してくれることが多い。「思ったより落ち着いてできました」緊張してもいい。不安になってもいい。大事なのは、できるだけ早くいつもの状態近くまで戻ることだ。

もし今、入試本番を前に少し不安を感じているのなら、「今年は難しくなるかもしれない」と、何度も心の中でつぶやいてみてほしい。本番で心が揺れても大丈夫。前もって準備しておけば、それだけで気持ちの戻りはずっと早くなるからね。(菅野)



飛鳥ニュース

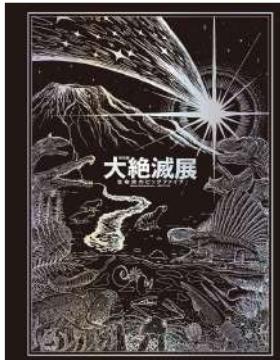


● 「6年生が入試に挑みます」

飛鳥の6年生は1月入試であっても一つひとつを本番と捉え、本気で挑んでいます。ここまで入試では、自分の偏差値よりも高い学校に合格した生徒も何人もいました。それでも慢心することなく、残された数週間をどう使うかに意識を向け、最後まで全力を尽くしています。冬期講習では、毎日12時間近く勉強に取り組んだ生徒たち。志望校の過去問演習では、数か月かけてようやく合格点に届いた生徒もいました。彼らの目にじんじん涙を見ると、私も胸が熱くなります。まだ合格点に届いていない生徒も少なくありませんが、だからこそ今、できることに集中しています。塾では引き続き、生徒一人ひとりが目の前の課題に集中できるよう支えていきます。6年生全員が、悔いのない受験になることを心から願っています。彼らにあたたかい応援をお願いいたします。



今月の本棚 ~Monthly Book List~



『大絶滅展 図録』

サイズ：W225×H297mm ページ数：72ページ 価格：2,800円

～内容紹介（出版社Webサイトより）～

図録にあるのは生命の歴史は、生命の危機である「絶滅」と、それを乗り越える「繁栄」の繰り返しです。

本書ではその歴史を大きく方向づけてきた5回の「大量絶滅」事変それぞれの要因と、絶滅前後の生物多様性の変化を解説。さらには最新研究とそのバックステージも豊富なコラムを交えて紹介します。

美術館や博物館を訪れたさいは必ずと言ってよいほど図録を買って帰ります。展示会場では読みきれなかった解説や、見にくかった作品のアップを確認しながら、会場で感じた驚きや疑問をたどっていく時間がまた楽しいんですよね。

今は上野の国立科学博物館で開催中の「大絶滅展」の図録を読んでいます。この特別展は生命の歴史の中で起きた5回の大量絶滅、いわゆる「ビッグファイブ」をテーマに、その最新研究を紹介したものです。どんな生き物が生まれ、どんな理由で姿を消していったのか。その背景にある環境の変化に目を向

ることで「生き残るとはどういうことか」について考えさせられます。

図録では迫力ある化石の写真はもちろん、絶滅の前後で生物多様性がどのように変化したのか、さらには最新研究の舞台裏や今後の気候変動に関する科学的な予測までが、コラムを交えて丁寧に紹介されています。

一般的な図録は展示会場でのみ販売されているものが多いのですが、こちらに関しては通販でも購入可。事前に目を通してから博物館を訪れるのも面白そうです。実際の展示と本を行き来する体験が学びをより深く、心に残るものにしてくれると思います。（菅野）

中学受験コース：飛鳥（小3～小6）



▼3年生 「計算力について」

中学受験の算数といえば思考力です。難しい問題を解くときだけでなく、新しい単元を学ぶ場面でも、考える力があるほど理解は深まります。考える力を身につけることは、これからの受験算数において欠かせないポイントです。その一方で、計算力も必要なのは言うまでもありません。大切なのは、速く、正確に解く力です。筆算でもかまいませんので、確実に処理できる力を身につけましょう。小数や分数の計算、複雑な四則演算も、慣れるまで繰り返し解くことです。派手さはありませんが、こうした積み重ねが思考力を支える土台になります。焦らないでコツコツと。一つひとつ積み重ねながら、算数の力を伸ばしていきましょう。（池田）

▼4年生 「理科・算数の宿題について」

理科4年下のテキストが終了しました。1月は理ポチテストを使って演習を行います。月末にはコンクールがありますので並行して勉強していきます。夏期より始めた分数束計算の終了者が現在3名です。分数の計算は算数の問題を解くうえで出来て当たり前の状態にすべきものです。まだ束計が終わっていない子は1月中に絶対に終わらせるという強い意志を持って臨んでくださいね。2月からは1週間で1単元ずつ勉強して火曜日の定例テストで定着度を確認するカリキュラムになります。宿題は先生との約束事です。必ずやってきましょう。（山崎）

▼5年生 「飛躍の1年に」

冬期講習中、6年生の勉強に向き合う姿に驚いた5年生も多かったのではないでしょうか。5年生が教室に来る時間、6年生はいつも入試問題に真剣に取り組んでいました。その様子を見て、「わたしにはムリだ」と感じた子もいたかもしれません。でも、そんなことはありません。学年が上がるにつれて「今、自分が何をすべきか」が分かるようになります。目の前の勉強と真剣に向き合い、目標に向かって努力する。その積み重ねの中で、頑張ることの価値を実感していきます。小テストや定例テストで味わう達成感や喜び。それが、次の勉強へ向かう大きなエネルギーになります。一日一日を大切にしながら、しっかりと勉強していきましょう。（池田）

▼6年生 「入試まで残り2週間」

入試まで約2週間となりました。これまで積み重ねてきたペースを崩さず、引き続き努力を重ねていきましょう。算数ではトライアルに取り組む子、算数チェックに力を入れる子と、それぞれ課題が異なります。自分にとって今必要な学習に、しっかりと向き合ってください。理科では、演習問題集や1000題トライアルを2周、3周とできる限り進めていきましょう。理ポチテストは、これまで通り毎日実施します。過去問演習も進めなければならず、「時間がいくらあっても足りない」と感じている人も多いと思います。それでも、今は目の前の問題に向かっていくことが、入試突破への一番の近道です。入試演習で思うような結果が出ず、不安になることもあるでしょう。それでも、一問一問と向き合う姿勢が、必ず力になります。残りの1か月、私たちも全力で支えます。最後まで、一緒に頑張りましょう。（山崎）

高校受験コース：ヘリオス小学部（小2～小6）



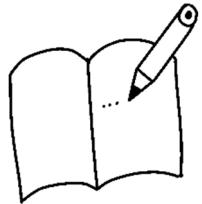
1. コンクール（小2～小6）

■ 日程……小2・小3：1/22（木）算国

小4：1/27（火）算国理社

小5・小6：1/28（水）英&1/30（金）算国理社

覚えるものが中心のテストです。2週間前から授業や宿題で練習を取り入れています。6年生は小学生のまとめとなります。しっかり練習して本番に臨みましょう。



2. 学力テスト（小5・小6）

■ 日程……2/13（金）

今年度最後の学力テストになります。冬以降、国語・算数ともに実戦形式の問題練習を数多く取り組んできました。ただし、算数の場合はミスなく一発で正解を出せなければ点数に結びつきません。最後は気持ちの勝負です。「何が何でも点を取るぞ！」の構えを大切に取り組みましょう



岸のはなまるレポート～小6Lクラス編～

今月は小6Lクラスの様子をお伝えします。

この学年は、小4生の頃から勉強に対して前向きな姿勢を保ち続けてきました。私が声をかけなくても、「授業は楽しいもの」と自然に受け止め、その前向きさが互いに良い影響を与え合う関係ができています。

そして今、中学進学を目前に控え、勉強の厳しさと真正面から向き合う時期を迎えています。一発勝負のテストでは、たった一度の計算ミスが結果を左右することもあります。また、「このくらいでいいだろう」と暗記テストの基準を自分で下げてしまえ

ば、努力の水準も少しずつ下がっていきます。

高校入試はまだ先の話とはいえ、中学に進学すれば、中1・中2から忙しい日々が待っているのも事実です。だからこそ、自分の成長のために、結果へのプレッシャーや不安と向き合う経験も大切だと、私は考えています。大切なのは、不安に押しつぶされそうになったとき、すぐに相談できる人が身近にいることです。陽光学院の教師は、いつでも生徒一人ひとりの話に耳を傾けます。また、保護者の皆様のご不安についても、どうぞ遠慮なくご相談ください。どうぞよろしくお願ひいたします。（岸）



今月の宿題：達成状況優秀者

※宿題達成率…完全に終わっていたら1、途中まで（丸付けが未など）なら0.5でカウント

高校受験コース：ヘリオス中学部（中1～中3）



1. 後期期末テスト対策授業（中1・中2）

■ 期間…1/27（火）～後期期末テスト終了まで

テスト直前の土日は部活動が停止され、一気に勉強に打ち込める貴重な時間です。そこで何に取り組むかも重要となります。対策遅れの巻き返しに使ってはもったいないですよね。直前の土日にすべきことから逆算して計画を考えましょう。



2. 英語検定・漢字検定

■ 英検：1/24（土） ■ 漢検：1/31（土）

勉強では「解いて間違ったものを直す」ことが大切です。あとで間違えたくないという一心で「覚えきってから問題を解きたい！」という気持ちも分かりますが、間違えることが暗記を助けてくれることもあります。「覚える時間」「解く時間」のバランスを意識してみてくださいね。



岸のはなまるレポート～中1クラス編～

今月は中1クラスの様子をお届けします。

この1年は小学生の頃との環境の違いに戸惑い、心身ともに疲れを感じる場面も多かったことでしょう。そんな中でも、漢字検定や英語検定に積極的に申し込む生徒が多く見られました。印象的だったのは、「今の自分に必要なこと」を自分で認め、忙しさの中でも努力する道を選んだ姿勢です。その姿から、心も体も中学生として大きく成長していることを感じました。

また、冬期講習期間には、トップ校を目指して苦手な社会科に+αで取り組んだ生徒もいました。志

望校のレベルにかかわらず、今後は2年生の学習を進めながら、同時に1年生内容の復習が必要になってきます。そのためには、まず2年生の内容をしっかりと身につけ、学習の余裕をつくることが大切です。その余裕があつてこそ、検定などの+αの学習にも無理なく取り組むことができます。

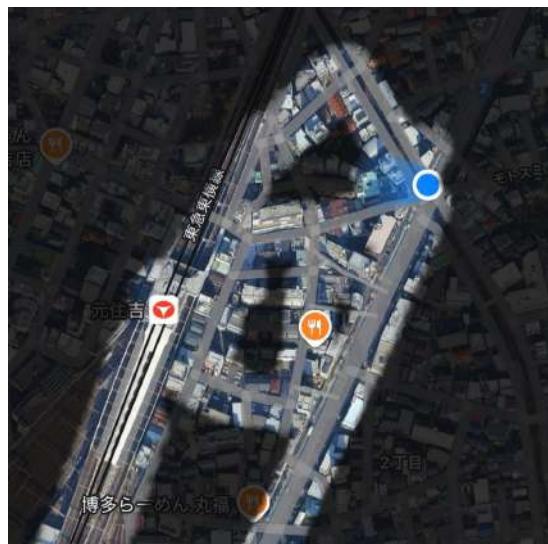
つまり検定などの学習を日常の学習の一部としてこなしていく力は、すべての生徒にとって必要な力になります。そのためのポイントは繰り返し伝えています。これから1年が充実した時間になるよう、一緒に取り組んでいきましょう。（岸）



今月の単語テスト＆漢字テスト：合格率優秀者

世界の霧（スマホアプリ）

My Favorite Things ～塾長のお気に入り～



↑陽光学院周辺の「黒い霧」。歩いた道だけ霧がはれていくことで、新しい土地を開拓しているような気分になります（3,000円／買い切り型）
←設定画面では霧の色（黒／白）や濃度、電源消費モードなどが選択可能です。

「脳への刺激や気分のリフレッシュのために毎日違った道を歩くのが効果的」と何かの本で読んでから、できるだけ違う道を歩くように心がけています。

そこで使い始めたのが「世界の霧」という地図アプリ。最初は地図全体が黒い霧で覆われているのですが、歩いた道の部分だけその霧が晴れていきます。この「霧が晴れる」という感覚が思いのほか楽しくて、今まで通ったことのなかった細い道や、一本奥に入った路地を選びたくなります。買い物の帰りには自然と寄り道が増え、旅行先でもいろいろな道を通るようになりました。

地図を見返すと自分の足跡で少しづつ世界が広がっているのがわかり、自分だけの地図を育てているような気持ちになります。毎日の散歩や移動を、ちょっととした探検に変えてくれるアプリです。（菅野）

わが家はこうやって受験を乗り越えた！～「保護者様の声」ご紹介～



少しづつ学習への向き合い方が変わり、模試の成績が大きく伸びていきました

息子は中1の7月から約3年間お世話になりました。当初は集中を保つことが難しく、やらずに済ませようとする場面も多く、先生方にはご迷惑をおかけしたことと思います。

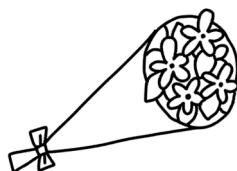
それでも息子の様子をよく見てくださり、時に厳しく、時に根気強く寄り添いながらご指導いただいたおかげで、中3になる頃には少しづつ学習への向き合い方が変わり、模試の成績が大きく伸びていきました。

内申は最後まで心許ない状況ではありましたが、公立入試前には「目標点を取れる！」という自信を持てるまで演習を重ねることができたよ

うです。

無事に志望校へ合格し、新たな一歩を踏み出すことができたのも、陽光の先生方に支えていただいたからこそだと、親として心から感謝しております。本当にありがとうございました。

【川崎総合科学高等学校（情報工学科）合格
Nくんの保護者様】



動画配信
レポート

岸&池田の受験 Pick Up!

▼中学受験レポート 「受験生の2月」



「受験生の2月」

◆ ◇1月保護者の予定

- 1月入試の受け止め
合否後の対応
手続き上の確認
- 2月入試の出願準備
各回ごとの情報整理
受験日程の調整
- 学校の欠席
集中力・体力の低下
力を発揮するために
- スケジュール調整
試験会場への送迎
合格手続き、集合日

↑1月入試は合否後のフォローが大切。より勉強に集中できる対応をしましょう。次に出願準備。模試や過去問の結果、1月入試も参考にして各回の合否の可能性を探ります。スケジュール調整など最後の確認も。万全の準備をお願いします。

「受験生の2月」

◆ ◇1月の勉強

- 直前期にすべきこと
知識項目の総チェック
算数を詰めない
- 志望校対策
得点状況の整理
伸び代で勝負
- 過去問演習
合否の可能性を確認
本番のシミュレーション
- 答案作成力
時間配分を常に意識
正しい字＆丁寧な計算

↑勉強面は最後の仕上げの段階に。点数を上積みすることにフォーカスして志望校合格を目指します。複数の志望校で状況が異なることも珍しくありません。得点状況も踏まえて最善の勉強計画を立てます。集中力を高めて最高の勉強で挑みましょう。

[前回の中学校受験レポート]

■ 「1月入試」 (24分51秒)

1月入試は、いわゆる「お試し受験」として位置づけられことが多い入試です。武蔵小杉駅を利用すれば、乗り換えないで通える学校もあり、条件次第では現実的な通学先として検討できるケースもあります。今回は千葉・埼玉以外の学校を中心にご紹介。都内に入試会場を設け、幅広い地域から受験生を集める学校も多く、受験戦略の中で心強い選択肢となります。

最新の学校情報や受験情報、勉強のコツなどを岸と池田が動画で解説！



▼高校受験レポート 「公立入試・私立入試」

公立入試 ② 神奈川方式

近隣校の合格者の内申平均

川和	1 2 7	高津	1 0 0
多摩	1 2 6	川崎北	8 8
神奈川総合	1 2 3	幸	8 8
横浜平沼	1 2 3	百合丘	8 6
新城	1 2 1	生田東	8 2
橋	1 1 2	-----オール3-----	
	-----オール4-----	菅	7 4
		港北	1 0 8
		住吉	1 0 1

12

↑公立入試：元住吉エリアは交通の便が大変よく、多くの受験生が集まるために競争が激化しやすいのが特徴です。内申は宿題提出、素行態度、勉強への姿勢などを数年かけて蓄積していくもの。スイッチを早く入れられた生徒が競争を制するといえます。

私立入試 ② 推薦&併願優遇出願基準

学校名	推薦入試基準	併願優遇基準
慶應義塾	9科3 8 (学力検査あり)	なし
青稟	なし	5科2 4または3科1 5
日大日吉(附属)	9科3 9かつ5科2 2	9科4 0かつ5科2 3
朋徳学院(特進)	5科2 2	5科2 3
駒澤大学	9科3 4かつ5科2 0	9科3 8かつ5科2 0
明治学院	9科3 6	なし
日黒日本大学	5科2 0または3科1 2	5科2 1または3科1 3
東京	9科3 2または5科1 8	9科3 5または5科2 0
鶴見大付属(認定)	5科1 9または3科1 1	5科1 9または3科1 1

※凡4年生 勉強要項

出願基準は併願優遇の方が高め

23

↑私立入試：近隣には中大横浜、法政二、日大日吉などの大学付属があり、オール5かそれに次ぐ内申を求められます。第一志望となりそうな私立高校があれば推薦の内申基準を確認しましょう。中2後期の内申も出願要件に含まれる高校もあります。

[前回の高校受験レポート]

■ 「中3の内申」 (8分12秒)

中2後期から中3後期で内申が上がる生徒は少なくありません。特に技能教科は中2の段階から授業態度や提出物で評価を積み重ねることで、周囲と差をつける大きなチャンスになります。一方、主要5教科は差がつきにくくなります。だからこそ重要なのが中3前期で最高のスタートを切ること。ここにこだわることが後期内申5への近道です。



入試情報（私立中学）



品川翔英中学校

(東京品川区 共学校 JR 横須賀線「西大井駅」徒歩 6 分)

昭和7年、京南家政女学校として創立。大井高等家政女学校、小野学園と改称後、令和2年品川翔英中学校として男女共学の進学校に生まれ変わりました。「自主的に未来を切り拓く力」「新たな価値を創造する英知」「未来へ飛翔し貢献する心」を教育方針の3つの柱とする中高一貫校。週6日制です。

▼品川翔英中学校を知るための「3つのキーワード」

- ◆【自立学習】…小テスト、単元テストを数多く実施。スマートルステップを多数設け、日常的かつ計画的に学習する姿勢を身につけ、学習を自律的に行えるようにします。また、ベネッセの学力推移テストを学期に1回受験。学習の定着度を確認する意味と全国での自分のレベルを確認。学習目標の設定や学習計画の妥当性を教師と一緒に確認し、新たな目標や計画を設定していきます。
- ◆【学年担任制とメンター制】…学年担任制とは、学年の生徒をクラスにとらわれることなく、学年教員団で担当。HR、朝のエンカレッジタイム・清掃の時間などを、多様な教員がチームでクラスを担当。この学年担任制によって多くの教員と関わりを持ち、どの教員とも自由につながりが持てるようになるとともに、将来さまざまなバックグラウンドを持った人たちと接していくためのトレーニングにもなります。また、主に学習面や進路進学について、生徒の成長を支援するメンター制を実施。この制度では、自分にあったメンターを生徒自身が選び、1年を通して面談や日常の相談をすることができます。生徒の自己実現のガイドとしての役割を担っています。
- ◆【LEARNS TIME】…外部とつながる時間として設定。品川の地を活かし外に飛び出していく授業を展開。また、学校の中にいても「最先端技術を知る」「社会問題にかかわる」など外部を含めた様々な大人とつながる活動を行います。いろいろな人と触れ合い、生徒の可能性を伸ばし、勉強する目的や勉強するエネルギーを作る時間と位置付けています。

今年度の大学実績は、国公立大7名、早慶上理8名、GMARCH19名、海外大4名などです。（山崎）

▼学校情報

◇TEL：03-3774-1151

◇生徒数：422人（中学合計）

◇偏差値：四谷大塚…41～44 首都圏模試…42～51

◇卒業後の進路：大学70%、専門学校7%、海外大1%、その他22%

▼入試情報

◇入試日：2月1日午前・午後、2日午前・午後、3日午後、4日午後、2月5日（計7回）

▼説明会・公開行事等

◇説明会：1月17日（土） ◇文化祭：10月 ◇体育祭：6月



入試情報（高校）



受験期（1月～2月）のスケジュールについて

私立入試・公立入試が目前に迫ってきました。受験校合格に向けて、塾では引き続き全力で指導してまいります。この時期は、学習面と同じくらい日程管理が重要になります。そこで今回は、1月から2月にかけてのスケジュールを「陽光学院の予定」と「入試関連の予定」に分けてまとめました。

	▼陽光学院の予定	▼入試関連の予定
1/18（日）	日曜授業	
22（木）		私立：推薦入試・合格発表
23（金）		公立：出願期間（～29日まで）
25（日）	日曜授業	
26（月）		私立：一般入試出願
2/1（日）	日曜授業	
2（月）	※岸：質問対応＆個別演習	
4（水）		公立：志願変更期間（～6日まで）
8（日）	日曜授業	
9（月）	※岸：質問対応＆個別演習	
10（火）		私立：一般入試・合格発表
11（水祝）	※岸：質問対応＆個別演習	
12（木）		
13（金）	中3通常授業最終日	
15（日）	日曜授業	
16（月）	※岸：質問対応＆個別演習	
17（火）		公立：学力検査
18（水）	中3：入試対応のため休講	公立：特色検査・面接
19（木）		
20（金）	高校英数講座スタート（火・金）	
27（金）		公立：合格発表

受験校ごとに、出願 → 入試本番 → 合格発表 → 入学手続き（準備金納付など）という流れがあります。受験校が複数になると、これらの予定が同時進行し、把握が難しくなります。受験生本人も、ご家族任せにせず、自分自身で日程を把握する意識を持ってください。

あわせて、ご家庭でも日程管理のサポートをお願いいたします。「日程管理は大丈夫です！」という状態が整えば、あとは目の前の努力を積み重ねるのみです。試験当日まで、共に全力を尽くしていきましょう。（岸）

■高校英数講座について

2月20日（金）から3月17日（火）にかけて、「高校英数講座」を実施します。高校では授業の進度が一気に速くなり、単元の難易度も中学とは大きく異なります。入学直後につまずくことのないよう、高校英語・高校数学の先取り学習を行います。なお、2月在籍生につきましては、2月分の授業料に本講座の費用が含まれておりますので、追加でのご納入は不要です。詳細につきましては、改めてご案内いたします。

世界を広げるブックリスト ~陽光ライブラリー新着本~



『あこがれ』

川上未映子／著

やんちゃ娘のヘガティーと、絵が得意な麦くん。クラスの人気者ではないけれど、悩みも寂しさも分けあうとなぜか笑顔に変わる、彼らは最強の友だちコンビだ。互いのあこがれを支えあい、大人への扉をさがす物語の幕が開く。

『さらに!できるかな?

人体おもしろチャレンジ MAX』

坂井建雄／著

友達や家族と盛り上がること間違いなし! 「どうしてこうなるの?」「勝手に体が動いてしまう…」不思議な不思議な人体のしくみ、すぐに試せるネタ 80 個掲載。みんなで試して、楽しく学ぼう!

『わたしと小鳥とすずと』

金子みすゞ／著

「若き童謡詩人の巨星」とまで称賛されながら、26歳の若さで世を去った金子みすゞ。全集から60編を選び、旧仮名づかい・旧漢字を改めて、美しい装丁の小型本にまとめました。初めてみすゞに出会う方におすすめの本です。

『僕の仕事はごみ清掃員』

滝沢秀一／著

生きている限り一生付き合うことになるごみの話。ごみ清掃員芸人マシンガンズ滝沢が贈る、おもしろくてためになる特別授業。ごみかどうかを決めるのは捨てる人自身です。ごみは嘘つきません。さて、君のごみはどんなごみ?!

『名門校の本棚』

平林理恵／著

あの名門校の先生は、生徒たちにどんな本を薦めているのでしょうか? 生徒たちに薦めたい本、授業で扱った本、自分が好きな本を紹介しながら学校の特色や、本にまつわるエピソードまでをとことん語ります。

『絶滅生物図誌』

チョーヒカル／著

本書は古代から現代までの絶滅動物 70 種をリアルなイラストとわかりやすい解説にて紹介する。コラムでは絶滅危惧種や化石など 10 種をセレクトし、動物たちを絶滅させてゆく人間の食欲、物欲に思いをめぐらせる。

ヒューマンキッズサイエンス：ロボット教室（小学生）



12月のベーシックは「ロボモンキー」を製作しました。左右の腕で綱渡りをするロボットで、腕の長さや可動域を工夫し、「どうすれば速く渡れるか」について試行錯誤を重ねました。

ミドルは「チクタクロック」。実際の振り子時計と同じ「振り子の等時性」の原理を学びました。2回目の授業ではプログラミングを用い、アラーム機能付きの時計へと発展させました。

1月製作ロボット紹介

▼ベーシック…連結ロボット「親子マーチ」



二体の親子ロボットの距離が伸びたり縮んだりしながら前に進むロボットです。クランクの動きやラチェットの動きについて学びます。タイヤを一方向にのみ回転できるように改造します。

▼ミドル…ダチョウロボット「テケテケドリ」



首を振りながら、二足歩行する愛嬌のある鳥型ロボットです。電池ボックスなどの重量のあるパーツを中央に配置し、シャフトはロボット本体に動力を与えると同時にバランスを補助する役割も果たします。

▼アドバンス…二足歩行ロボ「アルケンダーZ」（後半）



二足歩行ロボットの後半です。ロボットが人のように足を上げて前に進むようにするにはどうすればいいか、また改造したロボットをどのように動かせばよいのか、人の動きと照らし合わせながら考えます。

アドバンスは「アルケンダーZ（前半）」。二足歩行するロボットです。足裏のスイッチで歩行を感じし、バランスを保ちながら前進します。

昨年は回を重ねるごとに製作の技術はもちろん、創造力や独創性、協調性が育っている様子が感じられる年でした。本年も楽しく、そして学び多いロボット教室にしてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。（本山）

■作品紹介（12月）



ベーシックコース
「運動神経抜群！」



ミドルコース
「本物の振り子時計って見たことある？」



アドバンスコース
「力強く歩く！」

◆授業スケジュール（1月～2月）

- ・R1(第二・四/土 10:40～) 1/10(土)、24(土) 2/14(土)、28(土)
- ・R2(第二・四/土 13:00～) 1/10(土)、24(土) 2/14(土)、28(土)
- ・R3(第一・三/土 10:40～) 1/10(土)、17(土) 2/7(土)、21(土)
- ・R4(第二・四/火 16:20～) 1/13(火)、27(火) 2/10(火)、24(火)
- ・R5(第一・三/火 16:20～) 1/13(火)、20(火) 2/3(火)、17(火)

※色付きの日程は冬休みの関係で授業日が変更になっております。月内であれば振替が可能ですのでお電話またはメールにてご連絡ください。

スタッフ四方山（よもやま）話



福島県の磐梯山へ行つきました。磐梯山にある猪苗代湖は、冬になるとシベリアから飛来する白鳥の姿が見られることで知られています。雄大な自然を背景に、湖面をゆったりと泳ぐ白鳥の姿はとても美しく、思わず見入ってしまいました。長男と並んで猪苗代湖を眺めながら滑るスキーは、爽快そのものです。



猪苗代湖は空や山が鏡のように映ることから「天鏡湖」とも呼ばれます

午後は長女にとって初めてのスキービー体験。リフトを降りてから緩斜面にたどり着くまで後ろから抱えながら滑り降りることに。腕はすっかりパンパンになりましたが、娘が楽しそうにしてくれていたので、疲れも忘れてしまいました。この初めてのスキーが、娘の楽しい思い出のひとつになってくれたら嬉しいです。(池田)



大学生のころ、「記憶に残る旅をしよう」！と友人とサイコロの旅をしたことがあります。某テレビ番組のように、サイコロの目で行き先を決める先の見えない旅です。青春18きっぷや飛行機を使いながら、気がつけば北海道までたどり着いていました。

移動手段の多くは各駅停車や船といった格安なものばかりで、正直つらい場面もありましたが、それ以上に楽しかった記憶が強く残っています。その旅の体験は今の自分にとってかけがえのないものです。年齢を重ねることで責任は増えていくけれど、そのぶん自由もある。車窓の景色を眺めながらそんなことを考えていたあの頃と、今の自分とを、ふと重ね合わせことがあります。(西村)



一番北は北海道の留萌(るもい)もう鉄道では行けない場所です



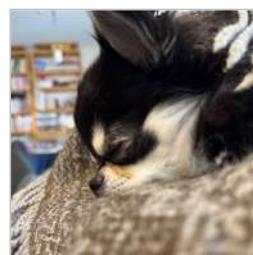
元日、娘たちが親戚からお年玉として「たまごっち」をもらいました。平成のブームの頃、僕は小学2年生。当時、隠しキャラクターの「おやじっち」に成長させるためには敢えて育成をサボらなければならないと知り、「世話をサボるなんてできない！」とおやじっちの道をあきらめたのを覚えています。

今回、娘たちがプレイしているのは英語表記の初代復刻版。卵からかえってしばらくは赤ちゃんなので、何度も「ピピー！」とごはんや遊びをせがむんですよね。娘たちも赤ん坊のときはビィビィ泣いていた時期があったねと思い出していました。じつは英語版では、とある場面の表現が日本語版とは異なります。いつか必ずやって来るそのときを見守ることにします。(岸)



マメな性格のまめっちは長女に似てるかも…

◆ 今月のワン！フレーズ



Sleep is the best meditation.

「眠ることは最高の瞑想である」(ダイライ・ラマ/チベット仏教の最高指導者)

知っていると
得をする、かも。

今月の雑学
コレクション



- 脳が出す電気信号は時速435kmに達することがある。
- ガリウムという金属は、手のひらの熱でとける。
- 人間の心臓は1日に約7571リットルの血を全身に送り出す。
これは家のお風呂でいうと25杯分にもなる。

◆編集後記：中学受験コース「飛鳥」は、2月からの新年度スタートに向けて各学年で順次お申し込みをいただいております。ご検討中の弟さん・妹さんや、お知り合いの方がいらっしゃいましたら、ぜひお早めに池田までご相談ください。新年度も子どもたち一人ひとりと丁寧に向き合いながら歩んでまいります。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。(菅野)